

広がる違憲論 軽視

「審議は熟していない」

野党の声耳傾けず

【福岡】 与党が17日、民主党を野党の政府を擁護し切った。参議院特別委員会が安全法制関連法案の採決を断行した。「審議は熟していない」と断行を求めた野党の主張は耳を傾けなかった。国会の内外を大する「憲法違反」との根拠的な指摘も押し切られていく。

安倍政権は昨年7月、歴代最長政権の座を上げた。政権が堅持してきた憲法改正の推進は、憲法改正の推進を断行した。1955年の憲法改正の断行は、72年の政府の断行を待たずして断行した。憲法改正の断行は、憲法改正の断行を待たずして断行した。憲法改正の断行は、憲法改正の断行を待たずして断行した。

安倍政権の強硬姿勢は、海外メディアも高く評価している。海外メディアは、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。海外メディアは、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。海外メディアは、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。

野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。

ヤマ場越えた 与党

許されぬ暴挙 野党

【東京】 参議院特別委員会が17日、安全法制関連法案の採決を断行した。野党は、この採決を「ヤマ場越えた」と批判している。野党は、この採決を「許されぬ暴挙」と批判している。

野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。

野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。

野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。

安保法案下キメント

- 1 安全法制関連法案の参議院特別委員会採決をめぐり17日の動きをまとめた。
- 2 時20分、特別委員会の休憩中に、前池田首相と北沢俊美、野党議員が別室で協議。
- 3 26 特別委員会の再開。前池田氏が午前8時50分に理事会を再開すると宣言し、休憩中。
- 6 55 前池田氏が質疑を行う国会内の委員会に入る。
- 8 30 前池田氏が、通常の理事会でなく、委員会での理事会を開催しようとする。
- 8 43 特別委員の福山哲郎、野党議員が「二人なだまし討ちあるか」と言いながら委員会に入る。
- 8 50 安倍首相が委員会に入る。
- 9 00 ころ、「動議させない」9条採否に1線がかり行動実行委員会」の呼び掛けで、市民らが国会前で反対集会。
- 9 10 前池田氏が特別委員会を召集。野党が委員長を取り囲み抗議。
- 9 10 自民党の佐藤勉が特別委員会を召集して「衆議院で採決する60日ルール」の行使も視野に入れなければならない」と説明。
- 9 28 特別委員が休憩。
- 9 31 公明党の山口那津男代表が委員会を「よいよ参院で結論を出す時が迫った」と強調。
- 9 45 特別委員が再開し、民主党が前池田氏に対する不信任動議を提出。前池田氏は議事を与党理事に託し退席。
- 9 49 特別委員休憩。
- 10 09 自民、民主両党の参院側委員が議長。不信任動議の取り扱いを協議。
- 11 04 参院側委員が記者会見で「決める時には決めていただきます」と述べた。
- 13 00 特別委員が再開し、前池田氏の不信任動議について審議開始。福山氏が45分間にわたって発言し、7人が討論。
- 14 30 保守系政治団体「頑固日本」全国行動委員会」が首相官邸前で賛成集会。
- 16 27 与党などが不信任動議を否決。
- 16 28 前池田氏が委員長席に就く。与野党の委員が委員長席を取り囲む中、安保法案の賛成行方切り動議が与野の賛成多数で可決。
- 16 31 首相が委員会を召集。
- 16 34 安保法案が与野などの賛成多数により参議院特別委員会で可決。自衛隊派遣をめぐり、政府に国会閣議の強化を求める内容の付帯決議も採択。
- 16 37 特別委員が散会。
- 17 00 参議院の議場で行われる「立憲フォーラム」と市民団体が参議院議員会館で反対集会。
- 17 02 自民党の佐藤氏が「60日ルール」は適用しないと表明。
- 17 09 法案に反対した民主、維新、共産、社民、生活の野党5党が参院閣議委員長会談を開催。その後、山崎正親参院議長に対し、特別採決は無効だと申し入れ。
- 18 34 自民党の橋本聖一参院議長が委員会を召集して「これから長い本会議が待ち受けている」。
- 18 42 法案を緊急上程する参院本会議開始に反対し、民主党が中川雅之参院議長を議長とする採決案を提出。
- 20 11 中川氏の解任決議案を審議する参院本会議開始。
- 20 27 野党5党の閣議委員長会談が終了。内閣不信任決議案を衆院に共同提出する方針決定。
- 21 05 民主党が中谷元・防衛相の閣議決議案を提出。
- 21 25 中川氏に対する解任決議案が反対多数で否決。参院本会議休憩。
- 23 00 参院本会議再開。山崎議長が、日付をまだいって本会議を継続するための延会を召集し、記者団に語った。

維新の会の松野頼久代表は「議会のルールを無視しており、本当に許し難い採決だ」と強く非難。共産党の志位和夫委員長は国会内での緊急委員会を「議院の暴挙だ」と批判し、民主主義国では許されないと断言。

野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。

野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。

野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。

野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。野党は、安倍政権の強硬姿勢を高く評価している。